

令和3年度S I P第2期臨時課題評価の考え方について（案）

令和3年11月25日
ガバニングボード決定

1. 臨時課題評価WGの実施について

「令和3年度S I P第2期臨時課題評価結果への対応について」（令和3年6月24日のガバニングボード決定）の決定に基づき、令和3年度の未配分予算を財源とする追加配分について審査を行うため、令和3年10月4日に臨時課題評価WGを開催し評価を実施した。課題評価WG委員は別紙のとおり。

2. 追加配分の審査の考え方について

追加配分要望のあった3課題について、当初計画に加え、課題との整合性、研究開発の加速・拡大等、追加配分することが適当であるか否か、臨時課題評価WGにおいて審査を行い、採択の可否について判定を行った。

採択の可否の判定は、「A+」、「A」、「B」判定の得票率の合計が「C」判定の得票率を上回る場合に「採用」することとする。

また、「採用」することとなった案件について、採択の可否の判定における最多得票率となる判定結果を比較し、追加配分案件の優先順位を定める。その際、最多得票率となる判定結果が同一となる課題があった場合は、それら課題の2番目以降の得票率の判定同士を比較し、より上位の判定結果の得票率が多かった課題の順位を高いものとする。順位判定後、留保している予算の総額と追加配分案件ごとの要望額を確認し、それぞれの追加配分案件に対する配分額をガバニングボードにおいて決定する。

表1：臨時課題評価WGにおける追加配分審査の視点

採否判定	判定結果	
採択の可否	A+	最も優先的に追加配分すべきである
	A	優先的に追加配分すべきである
	B	追加配分することが可能である。
	C	追加配分すべきではない
審査の視点	評価基準	
1. 追加配分と課題との整合性について	十分整合している	
	概ね整合している	
	整合していない	

2. 研究開発の加速・拡大について	非常に期待できる
	期待できる
	期待できない
3. 社会実装に向けた取組について	社会実装に繋がる重要な取組である
	社会実装に繋がる取組である
	社会実装に繋がる取組でない

3. 臨時課題評価WGの採点結果・ランク付け

臨時課題評価WGにおける追加配分施策の採点結果は次の通り決定する。

表2：追加配分案件の採否判定の結果

課題名	案件名	採否の可否判定における各判定結果の得票率				採否の判定	順位
		A+	A	B	C		
ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術	スマートシティ・アーキテクチャの社会実装加速のための高度化検証・研究事業	7.7%	<u>23.1%</u>	<u>69.2%</u>	0%	採用	2
光・量子を活用したSociety 5.0実現化技術	コロナ禍・ポストコロナ時代に必須となる多様な働き方を創造する量子コンピュータ活用の先行検証	0%	<u>23.1%</u>	<u>69.2%</u>	7.7%	採用	3
AIホスピタルによる高度診断・治療システム	医療機関における医療AIツールの開発のためのビッグデータ化の推進と他病院との連携による社会実装拡大	<u>46.2%</u>	<u>53.8%</u>	0%	0%	採用	1

令和3年度S I P第2期課題評価WG委員名簿

◎座長

須藤 亮 内閣府政策参与・S I Pプログラム統括

○委員

小豆畑 茂 元 株式会社日立製作所 フェロー

五十嵐 仁一 ENEOS 総研株式会社 代表取締役社長

江崎 浩 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授

岡崎 健 東京工業大学 エネルギー・情報卓越教育院 特命教授

小栗 久典 弁護士法人内田・鮫島法律事務所 パートナー弁護士

君嶋 祐子 慶應義塾大学 法学部・大学院法学研究科 教授

小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所 理事長

小向 太郎 中央大学 国際情報学部 教授

白井 俊明 元 横河電機株式会社 フェロー

竹中 章二 池上通信機株式会社 技術顧問

林 いづみ 桜坂法律事務所 弁護士

藤野 陽三 城西大学 学長

吉本 陽子 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 経済政策部
主席研究員

(敬称略、五十音順)